

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」姥ヶ山校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		お子さまに合わせて支援スペースを都度調整している。	就学に向けて利用希望のあるお子さまに対して学校で使っているような学習機があると良いと感じる。
	②	職員の配置数は適切である	3	1	1対1の個別療育で落ち着いて過ごせている。	お子さまへの支援、保護者の皆様への対応等、日々スキルアップに努めます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	お子さまが過ごしやすいように都度環境調整をしている。	バリアフリー化はしていないが、トイレ等は指導員が適宜補助に入り、出来ないことがないようにしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日の清掃、時期等に合わせておもちゃの消毒等行っている。	継続して事業所内の清掃、模様替え等お子さまに合わせて都度変更を行います。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		日々振り返りを個別および全体で行っている。	今後も業務効率化を図る為に業務の優先順位、振り返り等を継続して行います。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		普段お子さまの支援後、保護者様のフィードバックでお話を聞いている。	保護者様の要望、意向を都度確認し、事業所内で情報共有をしています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		保護者様からいただいた意見、お話は事業所内でしっかり共有している。	ご利用いただいている保護者様、お子さまが感じている事業所の雰囲気等を職員全員で振り返り、改善に繋がります。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	外部の方が良い印象を持っていただけるように自分たちも客観的視点を持つようにする。	外部の方の意見を真摯に受け止め、意見をいただいた時には改善できるように事業所内で話し合い改善をしていく。

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		事業所内、外部研修に可能な限り参加している。	参加した外部研修の内容を他の職員にも情報共有し、全体でスキルアップに繋げる。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		保護者様の要望を確認し個別支援計画書を作成している。	保護者様の要望を丁寧に聞き取る中で、要望に関係する他の内容のものも作成する。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		発達検査の結果等、保護者様の了承をいただき写しをいただいている。	今後も継続して保護者様の要望、発達検査等の情報を基に行っていく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		保護者様に要望、意向等を細かく聞き取り、具体的に支援の方向性を設定している。	今後も継続してお子さまへの要望、方向性等具体的に記載をして作成をする。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		個別支援計画書に沿って支援を行っている。	今後も個別支援計画書に沿った支援を提供できるように情報共有を行う。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2	活動内容が固定されて飽きないように考えている。	定期的なモニタリングの際に全員で行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		お子さまが学習を嫌がらないようにiPadを取り入れたりしている。	継続した取り組みが必要なお子さまには続けて行い、色々な物に目移りしてしまうお子さまには都度課題を変えている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	2	2	普段の個別療育で学んだ事を不定期の小集団で活かせるように取り組んでいる。	今後必要なお子さまには導入することも視野に入れて検討。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	2	各職員がお子さまの状況、取り組み内容等を確認および準備している。	今後も継続して、お子さまをお受けする前に支援プログラム作成、準備を行っていく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	情報共有が確実に必要なお子さまは	今後もお子さまの些細な変化に目を向け、小さなことでも全員で情

					その日の内に共有している。	報共有できるようにしていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		お子さま一人ひとりの支援経過記録を作成している。	今後も継続して作成していく。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		半年に1回は必ず行い、保護者様の要望等を確認している。	今後も保護者様が新たな要望、意向を検討していないか都度確認をしていく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	可能な限り積極的に参加している。	支援担当者が参加出来ない場合、情報を児発管に伝えて児発管が参加。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		可能な限り直接訪問し、電話連絡等でも連携を図っている。	今後も継続して情報共有、交換を行っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	2		医療的ケアが必要なお子さまが現在いない。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	3		医療的ケアが必要なお子さまが現在いない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		支援情報提供書を作成して情報の引継ぎが出来るようにしている。	保護者様を通して行う事が多いが、必要な場合は直接連携を行っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		支援情報提供書を作成して情報の引継ぎが出来るようにしている。	お子さまの支援情報提供書を作成して関係機関へお渡ししている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		併用利用しているお子さまがいる場合情報共有を都度行っている。	今後も継続してお子さまに関する必要な情報を都度情報共有、交換している。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4	保護者様からの要望、了承をいただいて、情報共有、交換をしている。	今後も継続して保護者様から了承をいただいて行っていく。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		4		今後参加を検討に考えていく。

	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		支援後のフィードバックでお子さまの情報を共有、交換している。	今後も継続してお子さまの状況確認とともに課題の方向性を考えていく。
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	1	家庭でのお子さまの様子、情報を確認しお話をしている。	今後も家庭での様子を随時確認し、保護者様の不安が軽減するように傾聴していく。
保護者への説明責任等	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に詳しく説明を行う。	今後も分かりやすいように丁寧に伝えていく。
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		契約の際に合わせて確認していただき、初回支援がスムーズにいくようにしている。	保護者様の要望を取り入れ、お子さま自身も負担にならないペースで課題に取り組めるように作成し、今後も同意をいただいている。
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		利用以外の日であっても電話等相談にのっている。	保護者様からのお話を傾聴し、不安に感じていることを少しでも軽減できるように、今後も丁寧に対応をしていく。
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	小集団イベントの際に保護者様同士の交流の様子が見られる。	保護者会開催は出来ていないが、小集団療育の際に保護者様同士が情報交換を行っている。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		可能な限り早急に対応し、保護者様へ返答できるようにしている。	保護者様から相談等あった際は、都度丁寧かつ早急に対応していくよう今後も取り組んでいく。
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		イベントチラシ、きらりだより等、掲示とともに配布をして周知している。	定期的にはではないが、必要な際は都度作成して掲示および保護者様へお渡ししている。
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	4		鍵付きキャビネットで保管している。	個人情報等については厳重に保管をしている。
	⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		保護者様へ直接お伝えする以外に、書面等でお渡ししている。	今後も直接お伝えするとともに書面での周知を継続して行っていく。

非常時等の対応	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		今後交流の機会を検討していく。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4			周知していくとともに、今後可能であればお子さまも参加をした訓練を検討していく。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		月に1回各災害を想定した訓練を実施している。	実際の場面に遭遇した時でも動けるように今後も継続して訓練を行っていく。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	1		現在利用の際に服薬しているお子さまはいない。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3		食べ物の提供をしていない。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	ヒヤリとした場面は職員全員で情報共有している。	記録を残すとともに、今後同じことが起きないように対応方法等も全員で考えている。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		事業所内研修で虐待防止について学んでいる。	お子さまへの対応で虐待に繋がることがないように事業所内で対応方法等考えていく。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	2		現在身体拘束が必要なお子さまは現在いないが、必要なお子さまがご利用となった場合には職員でしっかり話し合い、保護者様ご了承のもと記載を行っていく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」姥ヶ山 校

保護者等数（児童数）：15 回収数：13 割合：86%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	1	1		狭すぎず、適度な距離感があり、利用しやすい。	お子さまがより過ごしやすいように環境設定を心がけてまいります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13				子どもが困惑しないよう指導員を固定してくれるのが良い。	通常は指導員固定ではありませんが、保護者様のご要望によって今後も都度対応をさせていただきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	2				バリアフリー化はしていないが、トイレ等は指導員が適宜補助に入り、出来ないことがないようにしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13					継続して事業所内の清掃、模様替え等お子さまに合わせて都度変更を行います。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13					保護者様の要望を丁寧に聞き取る中で、要望に関係する他の内容のものも作成する。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	1		2		今後も継続してお子さまへの要望、方向性等具体的に記載をして作成をする。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11					今後も個別支援計画書に沿った支援を提供できるよう

								に情報共有を行う。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	1				継続した取り組みが必要なお子さまには続けて行い、色々な物に目移りしてしまうお子さまには都度課題を変えている。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	1	3	4		今後も継続して保護者様から了承をいただいて行っていく。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13					今後も分かりやすいように丁寧に伝えていく。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13					保護者様の要望を取り入れ、お子さま自身も負担にならないペースで課題に取り組んでいく旨を伝えていく。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	1	1	2	子どもへの褒め方や伝わりやすい言い方等、とても参考になります。	お子さまへどのように伝えればいいのか、指導員もスキルアップの為に勉強してまいります。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13				いつも話が出る時間を作っていただけで有難い。	保護者様がもっと話しやすいように丁寧に対応してまいります。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11			2		保護者様からのお話を傾聴し、不安に感じていることを少しでも軽減できるように、今後も丁寧に対応をしていく。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1	2	5		保護者会開催は出来ていないが、小集団療育の際に保護者様同士が情報交換を行っている。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	1		1	保護者様から相談等あった際は、都度丁寧かつ早急に対応していくよう今後も取り組んでいく。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1			今後も直接お伝えするとともに書面での周知を継続して行っていく。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11			2	定期的にはないが、必要な際は都度作成して掲示および保護者様へお渡ししている。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	13				個人情報等については厳重に保管をしている。	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9		1	3	周知していくとともに、今後可能であればお子さまも参加をした訓練を検討していく。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2	1	6	実際の場面に遭遇した時でも動けるように今後も継続して訓練を行っていく。	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1			利用日が空いても大丈夫なくらい、自ら曜日を確保するくらい楽しみにしている。	お子さまが楽しく過ごせるように、色々な活動を今後も取り入れてまいります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13				優しく、楽しく関わってくれることに感謝しています。	保護者様、お子さまに満足していただけるよう、今後も活動内容等マンネリ化しないように行なってまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。